

【「暴落を常に想定してトレードする重要性」について考える！】

どうもゆうです！

読者さん、こんばんは！

さてさて、ここ最近ですが連日のNYダウ高値ってのが報道されてますねー
たぶんかなり含み益出てるようなひとも多いかもです。

んで、今日のタイトルはそんな中

【暴落を常に想定してトレードする重要性について考える！】

ということを書きたいです。

まあ今全体的にNYダウとか日経平均とか上がっていて
すごい含み益でるから良いことだと私は感じるんですけど、

ただやはりこんな時だから脇を締めて

暴落来ても大丈夫なように準備はしておくってのは

大事だよなーって感じますよね。

副島先生なんかは今年もNyダウは結構上げ基調で考えても

良いかもとはおっしゃってたのだけど

私の場合暴落を想定して助かった、

もしくは儲かったということが過去かなりありまして、

もちろん100パーじゃないけど、

ただそれが資産増やしてくれたみたいなことが

過去やたら多かったので暴落はやっぱり想定すべきかなーと思ってます。

(大体マスコミとかみんなが楽観してるときに暴落を想定します)

これは以前も書いたけど暴落しても良いように

保険のオプションかけておくとか、

あとは金地金とか持って暴落時用にヘッジするとか

あとはFXで暴落時にショート、

例えばNYダウ扱える海外証券ならショートできる準備しておくとか、

まあいろいろヘッジ方法はあるんですけど、

もちろん、このヘッジとかやると

暴落しないで力強く上がったときにですね、

利益はヘッジ入れてる分、確かに減るんだけど、

結局長い歴史だと暴落付き物なんで
その暴落時にこのヘッジが機能してくれて
最終的にはなかなかよいプラスになったりするわけです。

んで、ジョージソロスの言葉、これは
私は大変重視してまして、
といっても日本では金融ユ、ダだなんだと言われてるけど
やはりすごい投資家ではあるんです。悪いけど。

しかし彼は実績をしっかりと何十年も出してるわけです。

んで彼が言ってる言葉が確か、
「市場が強気になって誰もが上がると確信して
楽観に包まれたとき、そういうときに暴落は起こる」

というものですよね。

だから今なんかはすごい楽観で確かに
株なんかは特に含み益とか伸びるんですけど、

あとはマスコミがNYダウ連日高値で騒いでいたんですよ。

ただやはりそんなときこそ浮かれないで

暴落には警戒するというのが大事な姿勢だと思いました。

私なんかはマスコミの分析もしてるんだけどマスコミが

浮かれ出したら注意するんです。

ビットコインもあれじゃないですか、マスコミが「過去最高」を

言い出した頃に暴落しましたよね。

というのがビットコインの暴落をピンポイントで言い当てる

すごい億トレーダーってのもいまして

彼らなんかも今一応念のため暴落には備えていると。

もちろん 100 パーはないので、

その辺は確率で考える必要があるのですが

ただテクニカル的分析して見ればこれ

方法はグランビルの法則とかで見るのですが

確かに少し暴落警戒はしないとイケない形ではあるんですね。

シナリオとしてはあがっていて含み益出ても

その後暴落は想定しておかないとイケない

チャートの形ってのがあるんですね。

一応ビットコインはかなりの下げをこの前見せましたが
そのときのBTC・USDの形状と、Nyダウの今の週足形状、
よければ見比べてグランビルの法則分かってる人は
検証してみてください。

チャートとしては似ているわけですね。

(あとはフィボナッチ分析なら「戻りのない上昇相場」
ってのがこれそれに当てはまりますね
一度も23.6%にも38.2%にも戻ってない相場で
買いはリスクが高いっていう考え方)

これは塾とかで勉強してる人はご存知の通りで。

今のNYダウの週足の形、、、

これはそのまま下がることなく上がり続ければ

みんな儲かるのかもしれませんが

相場っての「みんな儲かるのを嫌う傾向」がありまして

振り落としかけることがやたら多いですから

だから個人的にはちょっと暴落は警戒、想定しだしてますよね。

もちろん含み益が出てたりするってのは良いことだとは思いますが

そこでこう「喜ばない」ってのは大事だと私は思います。

お金がすべてじゃない、とかきれいごとと言う人ほど

含み益でたら阿保みたいに喜び散財しますよね。

まあ上がれば良いけども

暴落したらちゃんとそこでも利益が出る

ストラテジー戦略ってのは持つておくべきだ、

なんて毎回思いますよね。

実は暴落でも儲ける方法ってかなりあって

上のオプションプット買いは有名だし、

といってもこれは注文間違いすると、例えば

売りとか間違っているとほんと暴落来たら死にますので

ある程度の経験者だけのものですが

あとは暴落したら上がる金買いでヘッジ、

あとはNYダウのショートは

FXの国内はできないけど海外証券なら普通にできるんで

そこでショート入れてヘッジもできますし、
(暴落シナリオなら逆にピラミティングで売り重ねる攻撃性あっても良いかと)

あとは金ドル買いでヘッジしたりとか、

まあいろいろと方法はあつたりしますよね。

ということで今は市場が楽観で包まれていて

みんな上がると思ってるわけですが

それは儲かるのでいいんですが

ただ暴落や調整をして振り落として軽くして

また上がっていくってのが相場ですから

「みんなが儲からないように調整を入れてくる傾向」

が市場にはありますから

十分気をつけながら、こういう時こそ

「負けないこと」を心がけるのが大事な事と個人的には思います。

これはビットコインなんかもそうでしたよね。

私は結構うまく逃げられたけど

ビットコインなんかも市場が楽観していてバコーンでした。

これも100%じゃないんだけど、暴落がこない場合もあるから

この辺は自分で考える必要があるんですけど

ただ得てして暴落から逃れられるとこれ資産は

確率的に長期で増えやすいです。

「負けから常に考える」ということです。

「絶対勝てる」という人は大体数年で死にます。

というのは世の中に絶対というのはないからです。

不確実性の中で生きていくのが人類ですから。

私の場合はあんま利益が出ても喜びはほぼなくて、

というのはいくら儲けてもマレーシアの生活費が月15万円で

ほぼ固定してたりするんで特に喜びないんですけど

(ちなみに私の友人の中では私が月15万円で暮らしてると言う結構驚く人もいるんだけど、ただもう10億円近く稼いでるすごい友人がいて、彼は家賃4万円のところに住んでたりします。これマジです。ただ音楽を愛していて毎日楽しそうです)

逆に損切りしても経費だし、

と考える感じで結構客観的に見たりすることが多いのですが

ただこれ、暴落って喜んでる人をバババって

刈り取る瞬間が結構市場にはありまして。

んで、ここがポイントになって

利益残す人とそうじゃない人に分けてきた歴史はあるんです。

だから一応念のため、暴落をこういう楽観の時ほど

警戒しておくという姿勢は大事ですよ〜

逆に暴落後でみんな怖くて入らない、

みたいな時は何気にフィボナッチの数値あたりでと

反発して上昇になったりするから

そういうときにみんな買わなそうなときに

入るのがやはり効率は良いといつも感じますよね。

んで、詳しくはテクニカルの話で

これは有料塾でも言われてる内容ではあるんだけど

今はやはりグランビル法則でNYダウ週足の形は

一応警戒しないといけない感じだから

念のため暴落には警戒必要だなーとか感じました。

まあ上がれば含み益になるんだからいいんですけど

ちよい怖い形状ですからヘッジは入れるってのはこれ大事だなーと。

んで思うのは儲かっても興奮しちゃだめなんだろうなということで

今まで楽観相場でそこで暴落で刈り取られる人を

私は結構分析したことがあって

みんな儲かるとすごい喜ぶんですね。

「喜ぶのはいいことじゃないか！」と思うかもなんだけど

私はそうは思わなくて、価格が上昇で含み益で喜んでるってことは

それ逆に下落したら落ちこむんですよね、たぶん。

だから感情に支配されちゃってる感じになるわけです。

もう感情で支配されたらプロスペクト理論通りに持ってかれて

終わり〜って感じだと思ったりもするので

あまり喜ばない、儲けを友達や家族に自慢しない、

平然としている、ぽけーっとしている、

んでチャートはフラットな感情で見る、これって結構大事かなと

最近思います。

んでそのためには普段からあまり贅沢しないとかですね、

こう律するのも大事で

贅沢するとお金かかるから、そこで儲かるとうれしいっていう

感情が生まれやすいと思うんですね。

まあ人間らしいと言えば人間らしいんだけど

相場で稼ぐってのは以前ダイスケさんのところで書いたけど

人間としては不自然だ、と言うのが本質ですから

心理的に不自然なものですので、

だから不必要に喜ばないってのは大事かな〜って思いますよね。

逆に相場で喜んだり悲しんだりするんじゃなくて

友達とかと色々話して面白いな〜と喜んだり、

平日に海とか山でのんびりして楽しいな〜と喜んだり。

こういう生き方のほうが重要だとよく思いますね。

相場に喜怒哀楽の感情を依存させてはいけないって思います。

私も昨日すごい起業家、ほんと年商数十億円の起業家さんと

朝までずっと7時間くらい話していたんだけど

(この人ほぼもう数百億円いくの確定してて

もうみんなが知ってるような世界的企業と日本人で唯一

やるのが決まってる。守秘の話もあるから詳しくかけないけど。)

この人なんかもすごくて、まあ大金持ちなんだけど

やたら質素なんだけどそれでもすごい会話を楽しむとかを

重視されてたりするわけです。

だから攻撃性を見せて稼げるんですよね、たぶん。

んで不必要にこう儲かったと言って喜ばないってのは大事で

お金は数字、と割り切ってそれでチャート分析するとか

そういう姿勢は大事ですよ。

んでNYダウはどんどんあがって、それはそれで面白いんだけど

やはり暴落は常に想定して、それで資金刈り取られないように

守り固めるのは大事だな～なんて思います。

これビットコインのときなんかの騒動をもっと勉強すると

よく分かります。

楽観になって、今までビットコイン買ったことないとか

興味ありませんでしたと言う人が50万円超えてそこで買って行って

暴落したわけですが

そしてそれも以前メルマガで事前に暴落シナリオはあるってのは

ダイスケさんのところで扱ってたけど、

実はそういう形状ってチャートに出てるんですね。

グランビル法則で事前に説明ついたりする。

だからそういう形状でてる時ってのは儲かってうれしいという感情を

押し殺して、

暴落に備えるってのはこれ大事だったりしますので

みんなが浮かれてるときに喜ばないで暴落も視野にいれて

フォーレンバフェットが言うように

1 負けないこと

2 負けないことを徹底せよ

をこれ意識すると良いと思った次第です。

ということで常に暴落を想定しておくのは大事なことから

それで数年に一回ある暴落に刈り取られないように

下がってもちゃんと利益で戦略ストラテジーを考えていくのは

大事ですね！

負けから考える、

暴落を常に想定しておいて

ディフェンスを固めてそれで攻撃する、

これは大事な考え方です。

スポーツのサッカーでもディフェンスとゴールキーパーが

いないチームは当然負けますよね。

それと似てるかなと。

ではまた！

ゆう